

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワットマン

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一郷

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理総務グループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡

TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,362	1.0	△34	—	△27	—	△33	—
26年3月期第2四半期	1,348	△7.9	57	115.5	62	75.6	△422	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△3.04	—
26年3月期第2四半期	△38.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,613	2,099	80.3
26年3月期	2,692	2,155	80.1

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 2,099百万円 26年3月期 2,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,860	4.1	10	△89.7	25	△79.3	△5	—	△0.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	11,368,541 株	26年3月期	11,368,541 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	431,447 株	26年3月期	431,264 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	10,937,213 株	26年3月期2Q	10,938,249 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件および業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
5. 補足情報	10
(1) 仕入及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果が下支えする中、消費者物価の緩やかな上昇や企業収益の改善に伴う設備投資の増加が見られる等、国内景気の回復基調が続きました。一方、個人消費については、平成26年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動があり、小売業界において低調な経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社は当事業年度を事業拡大期間と位置付けており、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめてまいりました。

また前期に引続き、新ブランド「Super Recycle Shop WATTMANN」(スーパーリサイクルショップ ワットマン)のもと、買取・販売する商品種類の拡充等による更なるお客様サービスの向上、コストダウンによる経営効率の向上、及び新規出店等による企業成長を目指しております。

営業政策面では将来の成長に向けて、売筋ジャンルの強化、積極的な買取と査定精緻化を進め、良品在庫の増大に努めてまいりました。また、早期売価変更と売場への継続的な商品供給を行い商品鮮度を維持するとともに、お客様目線の売場づくりを進め、お客様の購買意欲を高め、売上高の増加と売上総利益額・率の向上に努めてまいりました。

店舗政策面では、第2四半期累計期間において、ワットマンテック・スタイル平塚梅屋店、ワットマンテック・スタイル横須賀中央プライム店を開店し、ブックオフ横浜本郷台店をワットマンテック・スタイル・ブック横浜本郷台店に改装いたしました結果、15事業所33店舗となりました。

第2四半期累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ13百万円(1.0%)増収の13億62百万円となりました。これは既存店は消費税増税や、新店への商品供給、開店応援等の影響により前年同四半期比6.3%減収となったものの、新店の寄与により全店ベースでは増収となったものです。

商品カテゴリー別の売上高では、新店の寄与により電化製品等が前年同四半期と比べ14百万円(6.1%)増収の2億46百万円、服飾等が24百万円(5.5%)増収の4億79百万円、その他が18百万円(13.9%)増収の1億52百万円となりました。パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)は主にゲームの取扱を政策的に抑制し44百万円(8.4%)減収の4億82百万円となりました。

売上総利益は、既存店は売上減収により、前年同四半期と比べ31百万円(3.7%)減益の8億30百万円となりました。開閉店は新店の寄与により売上が増加し、前年同四半期と比べ64百万円(92.9%)増益の1億34百万円となりました。その結果、全社で売上総利益率が70.8%と前年同四半期と比べ1.7ポイント増加し、32百万円(3.5%)増益の9億64百万円となりました。

商品カテゴリー別の売上総利益は、電化製品等が前年同四半期と比べ11百万円(7.4%)増益の1億67百万円、服飾等が27百万円(8.0%)増益の3億64百万円、パッケージメディアが22百万円(6.7%)減益の3億11百万円、その他が15百万円(15.2%)増益の1億20百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、フランチャイズ契約解約により販売手数料等が減少したものの、新店舗改装費用、広告宣伝費用、消耗品費等及び、店舗増加に伴う人件費、地代家賃、減価償却費等が増加いたしました。この結果、販売費及び一般管理費は既存店で前年同四半期と比べ26百万円(3.3%)減少の7億75百万円、開閉店で1億50百万円(205.8%)増加の2億23百万円、全社合計で1億24百万円(14.2%)増加の9億99百万円となりました。

この様に新店の立上り途上にあるため、既存店は前年同四半期と比べ5百万円(9.6%)減益の営業利益54百万円を達成したものの、開閉店では86百万円減益の営業損失89百万円、全社では92百万円減益の営業損失34百万円となりました。経常損益は前年同四半期と比べ90百万円減益の経常損失27百万円となりました。

四半期純損失は前年同四半期においてフランチャイズ加盟契約解約損4億50百万円および固定資産除売却損16百万円、減損損失13百万円等の計上があったため、前年同四半期と比べ3億89百万円回復し33百万円となりました。

なお、平成25年3月以前より営業中の事業所を既存店、その他の事業所を開閉店としております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて68百万円減少し、11億12百万円となりました。これは主に現金及び預金が92百万円減少、商品が28百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べて11百万円減少し、15億円となりました。これは建物を始めとする有形固定資産が9百万円増加、敷金及び保証金が14百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ79百万円減少し、26億13百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて8百万円減少し、2億56百万円となりました。これは主に、賞与引当金が7百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて14百万円減少し、2億56百万円となりました。これは主に、長期借入金が17百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ23百万円減少し、5億13百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ56百万円減少し、20億99百万円となりました。これは主に、利益剰余金が55百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

5月12日付で公表している通期業績予想から変更が生じております。詳細は、10月31日付公表の開示資料「第2四半期累計期間における業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	666,040	573,867
売掛金	24,489	23,317
商品	330,172	358,613
その他	160,272	156,796
流動資産合計	1,180,975	1,112,596
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	389,351	393,154
土地	382,457	382,457
その他(純額)	73,380	79,029
有形固定資産合計	845,189	854,641
無形固定資産	20,242	19,326
投資その他の資産		
投資有価証券	34,721	33,501
敷金及び保証金	574,136	559,292
その他	37,484	33,696
投資その他の資産合計	646,342	626,490
固定資産合計	1,511,773	1,500,457
資産合計	2,692,749	2,613,053
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,576	6,304
1年内返済予定の長期借入金	55,700	58,700
未払法人税等	3,770	8,655
賞与引当金	15,000	8,000
その他	178,447	175,292
流動負債合計	265,494	256,951
固定負債		
長期借入金	126,690	109,590
退職給付引当金	8,467	10,882
その他	136,202	136,202
固定負債合計	271,360	256,674
負債合計	536,854	513,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	117,990	62,765
自己株式	△57,356	△57,379
株主資本合計	2,242,367	2,187,120
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,253	8,033
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
評価・換算差額等合計	△86,472	△87,693
純資産合計	2,155,895	2,099,427
負債純資産合計	2,692,749	2,613,053

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,348,799	1,362,167
売上原価	416,769	397,705
売上総利益	932,029	964,461
販売費及び一般管理費	874,706	999,280
営業利益又は営業損失(△)	57,323	△34,818
営業外収益		
受取利息	2,858	2,542
受取配当金	1,371	605
受取手数料	4,258	3,572
雑収入	4,379	4,242
営業外収益合計	12,868	10,963
営業外費用		
支払利息	2,397	1,640
社債利息	2,109	-
雑損失	2,188	2,188
その他	915	84
営業外費用合計	7,611	3,914
経常利益又は経常損失(△)	62,580	△27,769
特別損失		
固定資産除売却損	16,369	1,780
減損損失	13,943	-
店舗閉鎖損失	700	-
投資有価証券売却損	300	-
フランチャイズ加盟契約解約損	450,000	-
特別損失合計	481,312	1,780
税引前四半期純損失(△)	△418,732	△29,550
法人税等	3,697	3,800
四半期純損失(△)	△422,429	△33,350

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△418,732	△29,550
減価償却費	37,177	44,448
減損損失	13,943	-
長期前払費用償却額	4,268	3,788
差入保証金償却額	972	975
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△7,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,147	2,414
受取利息及び受取配当金	△4,230	△3,147
支払利息	4,507	1,640
固定資産除売却損益(△は益)	16,369	1,780
投資有価証券売却損益(△は益)	300	-
フランチャイズ加盟契約解約損	450,000	-
売上債権の増減額(△は増加)	795	1,171
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,692	△28,441
仕入債務の増減額(△は減少)	899	△6,272
未払費用の増減額(△は減少)	△19,711	△4,617
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,390	25,616
その他の資産の増減額(△は増加)	4,988	△2,665
その他の負債の増減額(△は減少)	△27,390	1,414
小計	68,605	1,554
利息及び配当金の受取額	1,723	785
法人税等の還付額	-	6,426
利息の支払額	△4,498	△1,625
フランチャイズ加盟契約解約に伴う解決金の支払額	△450,000	-
法人税等の支払額	△19,952	△3,610
営業活動によるキャッシュ・フロー	△404,121	3,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,610	△72,394
有形固定資産の売却による収入	203,640	-
無形固定資産の取得による支出	△2,822	△3,225
投資有価証券の売却による収入	9,990	-
長期預り金の返還による支出	△24,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	△4,500	-
敷金及び保証金の回収による収入	33,922	15,822
その他	△544	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	154,075	△59,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	15,000
長期借入金の返済による支出	△75,919	△29,100
社債の償還による支出	△100,000	-
自己株式の取得による支出	△19	△22
配当金の支払額	△21,658	△21,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,596	△35,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△447,642	△92,173
現金及び現金同等物の期首残高	1,143,330	666,040
現金及び現金同等物の四半期末残高	695,687	573,867

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

当社は単一のセグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第2四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	94,566	22.2%	27.9%
	服飾等	129,403	30.3%	16.0%
	パッケージメディア	166,169	38.9%	-12.9%
	その他	36,696	8.6%	26.5%
合計		426,836	100.0%	5.3%

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	246,693	18.1%	6.1%
	服飾等	479,800	35.2%	5.5%
	パッケージメディア	482,989	35.5%	-8.4%
	その他	152,683	11.2%	13.9%
合計		1,362,167	100.0%	1.0%

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。